

南アメリカ・オセアニア
州

名前

- 問1 オーストラリアにおいて、1970年代まで続けられていた、ヨーロッパ系以外の移民を制限することで白人中心の社会を維持しようとした政策を何とといいますか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 白豪主義 2. 同化政策 3. 多文化主義 4. アパルトヘイト
- 問2 南アメリカ大陸に位置するチリは、日本にとって重要な鉱産資源の供給国である。次のうち、チリから日本への輸出品として最も代表的な鉱産資源はどれか。 (2024年 青森県公立入試 類似)
1. 石炭 2. 原油 3. 銅鉱 4. 鉄鉱石
- 問3 ブラジルなどで盛んに行われている、サトウキビを原料としたバイオ燃料の生産について、その背景や特徴を説明したものとして最も適切なものを選択してください。 (2019年 山口県公立入試 類似)
1. 食料不足を解消するために、サトウキビを燃料用から食用へと転換する動きが世界的に加速している。 2. 石炭や石油などの化石燃料の価格が暴落したため、代替エネルギーとしての需要が急速に失われている。 3. 地球温暖化対策として、燃焼しても大気中の二酸化炭素を増やさない性質を持つ植物資源の活用が進んでいる。 4. バイオ燃料の生産には高度な工業技術が必要なため、発展途上国での生産量は年々減少している。
- 問4 オーストラリアにおいて、20世紀後半まで続けられていた歴史的な政策について説明します。当時、ヨーロッパ系以外の移民の受け入れを厳しく制限し、白人を中心とした社会を維持しようとしていたこの政策を何とといいますか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
1. アパルトヘイト 2. 同化政策 3. 多文化主義 4. 白豪主義
- 問5 オセアニア地域の大半を占めるオーストラリアの歴史と社会の変化について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)
1. イギリスの植民地から独立した当初から、アジア系移民を積極的に受け入れる多文化社会を形成してきた。 2. ヨーロッパ連合(EU)に加盟したことをきっかけに、域内の自由な移動を認める多文化主義を導入した。 3. かつては白人以外の移民を制限する白豪主義がとられていたが、現在は多様な文化を尊重し合う政策をとっている。 4. アパルトヘイトと呼ばれる人種隔離政策を長年続けていたが、近年になってアジアからの移民の受け入れを開始した。
- 問6 オーストラリアにおいて、18世紀後半からイギリスによる植民地化が進められる以前から、その土地で独自の文化を築いて生活してきた先住民を何と呼びますか。 (2026年 京都府公立入試 類似)
1. ヒスパニック 2. イヌイット 3. マオリ 4. アボリジニ
- 問7 南アメリカのアンデス山脈に位置する都市では、赤道に近い低緯度であるにもかかわらず、一年中涼しい気候が見られます。このように、低緯度地帯において標高が高い場所の気温が年間を通して低くなる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 沿岸部を流れる寒流の影響が、高い山脈によって遮られずに山頂まで届くため 2. 標高が高い場所では雲が発生しやすく、太陽からの日射が遮断され続けるため 3. 高緯度からの冷たい風が山脈に沿って吹き下ろし、地表の熱を奪い去るため 4. 標高が高くなるにつれて空気が薄くなり、地面から放出される熱が保持されにくくなるため
- 問8 2016年における世界全体の地下資源産出量の統計において、ブラジルの鉄鉱石やチリの銅鉱石などが大きな割合を占め、アジア州やアフリカ州、オセアニア州などとともに世界の資源供給の重要な拠点となっている州はどこですか。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
1. ヨーロッパ州 2. 南アメリカ州 3. アフリカ州 4. オセアニア州
- 問9 16世紀から19世紀にかけての南アメリカの歴史について、植民地での大規模な農園や鉱山を運営するための労働力として、ある大陸から多くの人々が強制的に連れてこられました。この人々が連れてこられた大陸名を次から選びなさい。 (2023年 福島県公立入試 類似)
1. ヨーロッパ州 2. アフリカ州 3. オセアニア州 4. アジア州
- 問10 オーストラリアでは、かつて白人以外の移住を制限する「白豪主義」がとられていましたが、1970年代にこの政策が廃止された後は、異なる文化を尊重し合う社会を目指すようになりました。このような背景のもとで起きた移民構成の変化と、その特徴について述べた文として正しいものはどれですか。 (2022年 兵庫県公立入試 類似)
1. ヨーロッパ系移民のみを優遇する制度を維持したため、人口が急激に減少した。 2. アジア系移民の増加を抑えるために、再び特定の地域からの入国を厳しく制限している。 3. 多文化主義の導入により、地理的に近いインドや中国を含むアジア系移民が増加した。 4. 南米系移民の受け入れを最優先する政策に転換し、公用語をスペイン語に変更した。
- 問11 日本とオーストラリアの経済的な結びつきについて、その背景や特徴を説明した文として最も適切なものを選びなさい。 (2025年 大阪府公立入試 類似)
1. オーストラリアはアジア太平洋経済協力会議(APEC)には加盟していないが、日本との二国間貿易だけで貿易額の過半数を占めている。 2. 日本とオーストラリアはともに北半球に位置しているため、農産物の収穫時期が重なり、互いの食料自給を助け合っている。 3. 日本はオーストラリアから衣類や電子機器などの労働集約的な製品を輸入し、ハイテク技術を提供する垂直分業を行っている。 4. 日本は工業製品を輸出し、オーストラリアからは工業原料やエネルギー資源、農産物を輸入するという相互に補完し合う関係にある。
- 問12 銅の需給に関するある統計資料において、鉱山から直接採り出された「産出量」が約20,500千トンであるのに対し、製品の原料として供給された「生産量」は約24,400千トンとなっており、生産量が産出量を大きく上回っています。このように、生産量が産出量を上回る主な理由として、現代社会で行われているどのような取り組みが挙げられますか。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
1. 過去に採掘して保管されていた在庫を放出し、市場への供給量を調整しているため 2. 技術革新によって、同じ量の鉱石から抽出できる金属の割合が大幅に向上したため 3. 廃棄された製品などから回収された再生資源が、リサイクルされて再び利用されているため 4. 不足分を補うために、海外から未加工の鉱石を大量に輸入して備蓄しているため
- 問13 南アメリカ大陸に位置するブラジルでは、国土の均衡ある発展を目的として、1960年に沿岸部のリオデジャネイロから内陸部へと首都が移転されました。この計画的に建設された現在の首都の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
1. ブエノスアイレス 2. サンパウロ 3. マナウス 4. ブラジリア

答え合わせ・解説

問1	答え 1 白豪主義	オーストラリアはイギリスの植民地であった歴史的背景から、白人以外の移民（主にアジア系や太平洋諸島系）を厳しく制限する政策をとっていました。これを「白豪主義」と呼びます。しかし、第二次世界大戦後の労働力不足や、国際社会からの批判、アジア諸国との経済的な結びつきを重視する必要性が生じたことから、1970年代にこの政策は完全に廃止されました。
問2	答え 3 銅鉱	チリはアンデス山脈沿いに豊富な鉱脈を持ち、世界最大級の銅の生産国である。鉄鉱石や石炭は主にオーストラリアから、原油は主にサウジアラビアなどの西アジア諸国から日本へ輸出されている。
問3	答え 3 地球温暖化対策として、燃焼しても大気中の二酸化炭素を増やさない性質を持つ植物資源の活用が進んでいる。	バイオ燃料は、成長過程で光合成により二酸化炭素を吸収する植物（サトウキビやトウモロコシなど）を原料とするため、燃焼しても大気中の二酸化炭素を実質的に増やさない「カーボンニュートラル」の考えに基づき、地球温暖化対策として世界的に注目されています。そのため、統計データにおいても2008年から2014年にかけて生産量が大きく伸びるなど、需要が高まっています。
問4	答え 4 白豪主義	19世紀末から20世紀にかけて、オーストラリアではアジア系などの非ヨーロッパ系移民の流入を制限し、白人の権利や生活水準を守ろうとする政策がとられていました。これを「白豪主義（ホホワイト・オーストラリア・ポリシー）」と呼びます。1970年代に入ると、経済発展のための労働力確保や近隣のアジア諸国との関係を重視する観点からこの政策は廃止され、現在は多様な民族の文化を尊重する社会へと転換しています。
問5	答え 3 かつては白人以外の移民を制限する白豪主義がとられていたが、現在は多様な文化を尊重し合う政策をとっている。	オーストラリアは1901年の連邦成立後、白人優先の「白豪主義」を国是としていましたが、第二次世界大戦後の労働力不足や、地理的に近いアジア経済圏への接近により、1970年代にこれを完全に廃止しました。現在では、異なる伝統や価値観を認め合う「多文化社会」の先進国として知られています。なお、アパルトヘイトは南アフリカ共和国で行われていた政策です。
問6	答え 4 アボリジニ	オーストラリアはかつてイギリスの植民地とされ、一時は白人以外の移民を制限する白豪主義がとられていました。しかし、現在は多文化社会へと転換しており、植民地化以前から居住していた先住民であるアボリジニの独自の文化や権利を尊重する政策が進められています。なお、マオリはニュージーランドの先住民を指します。
問7	答え 4 標高が高くなるにつれて空気が薄くなり、地面から放出される熱が保持されにくくなるため	気温は標高が100m上がるごとに約0.6度下がるという性質があります。低緯度地域はもともと太陽からのエネルギーを多く受けますが、アンデス山脈のような非常に標高が高い地域では、高度による気温低下の影響が強く現れるため、年間を通して気温が低くなります。
問8	答え 2 南アメリカ州	南アメリカ州には、アンデス山脈沿いに位置するチリの銅や、ブラジルのカラジャス鉄山などの広大な資源地帯が存在します。2016年時点の産出量割合を見ても、これらの国々が世界市場において重要な地位を占めており、アジアやアフリカなどの他州と比較した際にも、特定の鉱物資源において顕著な産出量を示しているのが特徴です。
問9	答え 2 アフリカ州	16世紀以降、スペインやポルトガルの植民地となった南アメリカでは、サトウキビなどの大規模農園（プランテーション）や銀山などの開発が進められました。そこでの過酷な労働に従事させるための労働力として、大西洋を渡ってアフリカ州から多くの人々が強制的に連れてこられた歴史があります。このことは、現在の南アメリカの多文化・多民族社会の形成にも大きな影響を与えています。
問10	答え 3 多文化主義の導入により、地理的に近いインドや中国を含むアジア系移民が増加した。	オーストラリアは1970年代に白豪主義を廃止し、多様な文化を背景に持つ人々が共生する「多文化主義」へと転換しました。その結果、アジア諸国との距離の近さや経済的な関係深化に伴い、インドや中国などからのアジア系移民が急増し、現在の多文化社会を形成する大きな要因となっています。
問11	答え 4 日本は工業製品を輸出し、オーストラリアからは工業原料やエネルギー資源、農産物を輸入するという相互に補完し合う関係にある。	日本は資源が乏しく工業が発達している一方、オーストラリアは人口密度が低く広大な土地と地下資源に恵まれているため、工業製品と資源を交換する補完的な貿易関係が成立しています。また、オーストラリアは南半球に位置するため日本とは季節が逆になりますが、APECの一員としてアジア太平洋地域での経済協力を強めています。
問12	答え 3 廃棄された製品などから回収された再生資源が、リサイクルされて再び利用されているため	金属資源の「産出量」は鉱山から新しく採掘された量を指しますが、「生産量」はリサイクルによって回収された資源も含まれます。銅などの資源において生産量が産出量を上回っているのは、使用済みの電化製品などから資源を回収し、再び原料として活用する仕組みが整っていることを示しています。
問13	答え 4 ブラジリア	ブラジルはかつて大西洋沿岸のリオデジャネイロを首都としていましたが、内陸部の開発を推し進めるために、広大なブラジル高原の上に新しい首都を建設しました。この都市は上空から見ると飛行機が翼を広げたような形に設計された計画都市であり、世界遺産にも登録されています。